

## CLINICAL APPLICATIONS

### ■神経系

- ・ **てんかん**：もっとも特徴的なのは、発作中に頭が後ろに反り返ること（強直性発作）です。
- ・ 頭部外傷後の発作（Arnica, Nat-s, Hypericum）
- ・ 小発作
- ・ 髄膜炎
- ・ 斜頸
- ・ 破傷風
- ・ **知能発達の遅れ**：行動が非常に子供っぽく**知能指数が低い**。頭部外傷後の知能障害
- ・ 異嗜
- ・ 斜視
- ・ 筋肉の間代性の痙攣：ピクピクした筋肉の痙攣や断続的にビクッと動くのが特徴の1つです。
- ・ しゃっくり

### ■皮膚

- ・ 乾癬
- ・ 膿疱疹
- ・ 膿疱疹化した湿疹：分泌物によってレモン色の痂皮ができます。

## MODALITY

- 暖かさ、体をのけ反らせること、食後など
- ❏ 寒さ、触られること（ほんのわずかも）、内部寄生虫感染、頭部打撲、喫煙

## RELATIONS

- ・ Antidoted by：Arnica, Opium
- ・ Antidoted to：Opium

### （参考）セリとドクゼリの区別

ドクゼリはセリよりも大きく育ちます。葉は、両者とも



(A)

羽状複葉です。小葉が卵型であるのがセリで、長楕円状披針形であるのがドクゼリです。また茎や葉を摘んだとき、いやな臭いがすればドクゼリの可能性があり、さらに1本長く伸びた茎を折り、中が中空になっていたらドクゼリです。ドクゼリは葉をちぎると、切り口から黄色い汁が出ます。両者ともに散形に花をつけますが、ドクゼリのほうがやや密度が濃くて小さくまとまっています。

### （参考）アルカロイドとは

植物体中に存在する塩基性窒素を含む有機化合物の一群の総称で、とくに神経系に激しく作用する生理作用をもっています。大部分のアルカロイドは顕花植物中、とくに双子葉植物に見い出され、多種類のアルカロイドが共存しています。窒素を含む複素環をもって有機酸と結合して存在していますが、そのほとんどは構造が非常に複雑であるため、構造決定が困難になっています。植物体中での役割はさまざまに推測されていますが、明確には判明していません。主な化合物には、ニコチン、コカイン、キニン、ナルコチン、カフェイン、モルヒネ、レセルピン、ソラニジンなどがあります。

## Cimicifuga racemosa アメリカショウマ [女性生殖器系の諸症状]

Cimicifuga racemosa L. Nutt

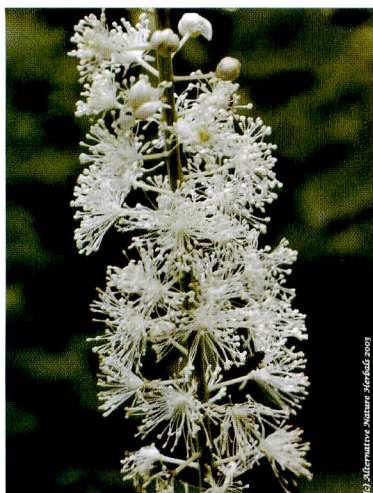
Actaea racemosa L.

## BACK GROUND

Cimicifuga は、北米原産の多年草です。北米東部、とくにカナダからマサチューセッツ、オハイオ、インディアナ、ジョージア州にかけて多く自生し、肥沃な

森林地帯や丘の斜面などに見られます。

高さ1～2mになります。根茎は太くて黒っぽく、節が多くあります。茎は滑らかで、縦に溝があります。葉は互生し、3～5枚の鋸歯のある卵形で、長さ4～



(K)

8cmの小葉片に分かれています。

開花期は初夏から秋にかけてで、乳白色で多数の長い雄しべをもった花を、長さ30～110cmの頂生の総状花序に咲かせます。この乳白色のネコジャラシのような花は、悪臭がします。

Cimicifugaの名は、ラテン語のCimex（虫）、fugo（逃げる）という語源に由来します。この植物が強い防虫性をもっているためです。

一般的には、Black snakeroot, black cohosh, cohosh bugbaneなどと呼ばれています。この植物の種が入った鞘が風に揺れると、ガラガラヘビの音に似ていることから rattleroot とも呼ばれています。

アメリカ先住民は、この植物を子宮疾患治療や出産の薬として、ガラガラヘビに咬まれたとき、また、神経痛などの鎮痛薬としても用いてきました。1831年にヤング医師がアメリカで Cimicifuga を紹介し、鎮痛、心臓病、てんかん、百日咳、リウマチ、ヒステリー、月経異常、天然痘など幅広く使える薬草として使用されました。

Cimicifuga にはエストロゲン様物質が含まれており、これがこのレメディの主な親和性になっています。中枢神経の機能を抑制するアネモニンや、抗炎症作用のあるサリチル酸なども含まれています。また、いくつかのアルカロイドがあり、そのうちの cytisine, N-methylcytisine は、鎮痙作用があり、筋肉の緊張を和らげたり、出産時の子宮収縮の苦痛を抑えることができます。安産になるように、出産の数週間前から服用します。また actein は、低血圧作用をもっているため、筋肉の緊張を和らげ、上昇した血圧を下げて、心臓の機能を安定させる助けになります。

ほかにも、actein と同じトリテルペン配糖体の cimicifugoside, cimigenoside, 27-deoxyactein など

はじめ、タンニン酸、オレイン酸、パルミチン酸、パルミット酸, isoferulic acid, racemosin, phytosterol などが含まれています。

## MATERIAL

新鮮な根と根茎を秋に収穫して打ち砕いたもの

## FIRST PROVING

Hempel, Wells, Paine, Mears の4人のアメリカ人医師（『North American Journal of Homeopathy』第3巻, 1852）

## MIND

Cimicifuga は、外交的で興奮しやすく、感情の起伏が激しい女性に適しています。想像力豊かで、物を書いたり、絵を描いたりといった芸術的な表現が好きです。自分の家族とのつながりを強く意識する傾向があります。

機嫌のいいときは、非常に早口でおしゃべりで、話題をころころ変えてしゃべり続けます。話題が変わるだけでなく、精神的症状と肉体的症状が、交互に換わって発現することがあります。

そわそわする傾向があり、あてもなく動いてしまいます。感情的になると、ヒステリーを起こすこともあります。落ち込むとため息も目立ちます（Ignatia, Calcarea phosphorica, Bryonia, Nux vomica と並ぶ、ため息のレメディの1つです）が、とくに月経中や更年期、女性生殖器系の疾患時に目立ちます。

死やケガ、精神病を怖れます。とくに月経中や更年期には、頭部に関連する奇妙な感覚を感じることもあります。

## AFFINITY

Cimicifuga は主に、女性生殖器系、精神、神経系、筋肉、頭部、眼球、心臓、関節、頸部などに作用します。

## CLINICAL APPLICATIONS

Cimicifuga は、主に女性のレメディとして使われます。月経の諸症状、妊娠中の不調、更年期障害、肩凝りからの首の痛みや頭痛、ホルモンアンバランスによる感情の乱れなどに使用されます。

### ■月経の諸症状

- ・月経前症候群、月経間症候群
- ・月経困難症：ストレスで月経は不規則になりがちです。痛みが太腿の後ろのほうにまで広がります。痛みは、鋭く、電気が走るように感じます。月経血の



量が多いほど、症状は重くなります。Lachesisと逆です。

- ・無月経
- ・更年期障害
- ・骨盤内の痛み

#### ■妊娠中の諸症状

- ・悪阻、睡眠障害、長引く分娩、妊娠中の情緒不安定、早産からの回復促進、出産中後の痛み：刺すような鋭い痛みが骨盤から大腿部にまで走ります。痛みは遊走することがあります。
- ・妊娠中の不眠、神経不安、悲嘆
- ・胎盤停滞
- ・子宮/卵巣の痛み：鋭い痛みがあります。

#### ■神経系

- ・うつ病：憂うつになり、ため息をよくつきます。不眠ぎみになります。上機嫌になると多弁になり、感情の起伏も激しいほうです。精神病や死を怖れます。ネズミや虫の妄想を怖がることもあります。お茶やValerianなどの、ハーブの使いすぎに関連するうつ状態にも使用します。
- ・ヒステリー：ふだんは非常におしゃべりです。
- ・頭痛：とくに頭頂部か頸部にかけて痛めます。頭の中がもやもやして、思考が鈍ります。頭頂部が開いたり閉じたりするような感覚になることがあります。眼に痛みが広がることがあります。月経中、更年期、睡眠不足やお酒の飲み過ぎ、精神的緊張、冷たい湿気のある風に曝された後の頭痛など。
- ・筋肉痛：首の痛み、背中の筋肉の痛み。寒い湿った気候で悪化します。首の筋肉の凝りのために頭痛がして思考が鈍ります。首筋は隙間風に対して異常に過敏になります。
- ・眼の痛み：眼球の後ろ側に痛みを感じます。指で眼球の上側を抑えると楽に感じます。頭痛に伴って起こります。



(K)

- ・リウマチ：とくに更年期。有痛性痙攣や締めつけるような痛みがあります。
- ・坐骨神経痛
- ・腱炎：とくにアキレス腱
- ・不眠症

- 特異的な感覚：とくに頭や頭の骨などに関する奇妙な感覚が特徴です。何かが脳を上を押上げているような感覚、頭が開いているような感覚、脳の中が空気で満たされているような感覚、脳に風が吹き込むような感覚、頭の中に木が生えていて、それが頭蓋骨に穴を開けるような感覚など

#### MODALITY

- ▶ 外気、穏やかな動き、暖かく包まれること、圧迫、食事中、休息など
- ◀ 月経、更年期、出産中、寒さ、冷氣、隙間風、湿気、休息後のはじめの動き、座ること、感情的ストレス、風、朝、夜、月経、飲酒、気候の変化など

## Cina シナヨモギ [歯ぎしりや鼻をほじる子供]

*Artemisia cina* Berg

*Artemisia maritime* L., *Artemisia austriaca*, *Artemisia contra*, *Absinthium austriacum tenuifolium*

#### BACK GROUND

Cinaはシベリア、トルキスタン、モンゴル、西ヨーロッパの一部が原産で、キク科ヨモギ属の大草原に

自生する低木の植物です。キルギス地方の乾燥地帯にも、広大な群生地が見られます。

ヨモギ属 (*Artemisia*) の植物属名は、ギリシア神